

## 八幡浜支局地域農業育成室 西予農業指導班（10月分）

標 題	いちご栽培における IPM 技術の導入推進		機関名	八幡浜支局地域農業育成室 西予農業指導班
年月日	令和4年10月12日	場所	西予市宇和町、宇和農産センター	
指導対象	いちご生産者（18人）	連携機関	JA ひがしうわ	
普及指導内容	<p>○JA ひがしうわいちご部会秋期研修会において、現地研修で病害虫の発生状況を確認するとともに、IPM 技術導入の推進を行った。</p> <p>○天敵導入時には、放飼前防除を徹底して天敵の定着を図ることや、放飼後の薬剤選択を周知するとともに、赤色防虫ネットの効果について紹介した。</p>			
結果と今後	<p>○部会内の天敵導入生産者は過去5年間で0戸から8戸に増加。赤色防虫ネットは、今年度新たに1戸が導入し、関心を持つ生産者も出てきている。</p> <p>○既に導入済みの生産者についても、毎年継続して放飼しており、天敵利用については定着が進んでいる。</p> <p>○今後、本ぽでの栽培が本格化することから、定期的な個別巡回により各生産者の状況を把握しながら適宜指導を行うとともに、一層の IPM 技術の普及推進を図る。</p>			
				
			<p>左：生産者ほ場での現地研修 右：栽培管理等について指導</p>	

標 題	高校生が大野ヶ原にんにくの植え付け体験で生産者と交流		機関名	八幡浜支局地域農業育成室 西予農業指導班
年月日	令和4年10月17日	場所	西予市立大野ヶ原小学校及び生産者ほ場	
指導対象	県立野村高校生（13人）、大野ヶ原にんにく組合員（2人）	連携機関	西予市、(株) 祐	
普及指導内容	<p>○大野ヶ原にんにくの産地化推進の一環として、6月の収穫体験に続き2回目の交流会を開催。地元高校生が植え付け作業を体験した。</p> <p>○本会は、「えひめ未来チャレンジ支援事業」を活用し、将来の担い手として期待される高校生に、にんにく栽培の体験や加工品開発を通して、にんにく栽培への理解を深めるため実施した。</p>			
結果と今後	<p>○アンケートでは、多くの生徒が今年度2回の交流会を通じて、にんにくに対する理解を深められたと回答しており、大野ヶ原における農業の魅力発信につながった。</p> <p>○引き続き関係機関と連携し、生産・加工・販売における具体的な取組みを支援し、産地化を目指す。</p>			
				
			<p>左：植え付け方法を生産者がレクチャー 右：植え付け作業体験</p>	